

2023 年度（対象 2022 年度）備前市まち・ひと・しごと創生懇談会
議事要旨

1. 日 時 2023 年 11 月 29 日（水）

2. 場 所 備前市役所会議室

3. メンバー 懇談会委員（外部有識者等）9 名（うち 1 名欠席）

4. 議 題

- ①備前市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ②備前市まち・ひと・しごと創生推進計画の事業評価（企業版ふるさと納税の活用）

5. 議事概要

備前市まち・ひと・しごと創生総合戦略における各取組みの効果検証等について、委員から意見・提案等を聴取

6. 委員からの主な意見・提案等

項 目	意見・提案等
成果指標	① 政策レベルの目標について、指標が隔年調査等のため判定不能（－）のものは KPI の設定として適切ではないのではないか。
	② 政策と施策の評価の整合性が取れていないのではないか。
	③ 隔年で指標がないものについて、最終（2024）年度分で指標が出ないのであれば、何か別の指標や関連するものを考えたほうがいいのか。
	④ 施策 4-5「補助制度を利用した移住者数」の減少について、年々補助金の制度が厳しくなり減少しているため、改善の余地があるのではないか。
	⑤ 施策 4-3「SNS の閲覧数」の増加に対し、1-4「 You Tube 動画再生回数」や、2-1「地域おこし協力隊の SNS フォロワー」の減少の理由の要因分析をするべき。
	⑥ 施策 1-2「就学前の教育、保育等の充実」について、政策 3「誰もがいつまでも安心して暮らせるまち」と紐づけた方がいいのか。
	⑦ 施策 1-5「スポーツ・レクリエーション活動の充実」について、政策 3「誰もがいつまでも安心して暮らせるまち」と紐づけた方がよいか。
	⑧ 施策 3-2「子育て支援の充実」について、利用希望者数に対するサービスを利用できている者の数の割合（利用率）を指標とした方がよいか。
補助金・制度	① 施策 3-4「成年後見制度支援事業の利用者数」が増加していないことについて、銀行としても課題であり、ぜひ協力できるので金融機関を利用してもらいたい。

	② 商業振興対策事業の補助金が、年度初めで予算がなくなりすぐ終了してしまうと聞いた。補助金について、市役所と商工会議所との情報提供など連携を強めたい。
まちづくり	① 人口減少につれて、企業の働く人手不足が深刻。備前市に住んで働くことができる環境が必要。転入する人の為の環境づくり、空き家活用などをするべき。
	② 市内には大きい病院が3つあるが、産婦人科がないのが課題。小児科も少ない。子育て世代が安心して暮らせるまちづくりが必要。
	③ 備前市で得た収入を、備前市に還元できる仕組みを。飲食店・宿泊施設など観光客が長く滞在できる場所づくりを。
観光	① 日生駅フェリー乗り場の跡地有効活用を。備前市にお金が落ちるシステムを考えてほしい。
情報発信	① 備前焼まつりは今まで伊部だけの印象のものだったが、これからは伊部から備前市全体へ。次回はもっと大きくPRするべき。
	② 備前焼まつりのポスターが届くのが遅かった。もう少し早めに頂けたらよかったと思う。
	③ マスコミについて、どうしても中央集中（岡山県では岡山市中心）になってしまう。情報発信の為の情報協力をお願いしたい。
市民意識	① 昔からの地域間のいがみ合いがまだ残っているように思う。道徳的教育を行い、それぞれの地域を応援する必要がある。
	② 市民会議（様々な年代が集まり備前市について話し合う会議）は、とてもいい機会だと思う。そういう会がないと地域の人たちの縦の繋がりがなかなか無いため続けてほしい。
	③ 職員は2, 3年で部署が異動になるが、政策に連帯意識を持ってもらいたい。問題点を掌握し、どのように解決していくか全員で考えてもらいたい。
	④ 地域を活性化するためには、市内の各地域がお互いに殻を割って、横の繋がりを強めるべき。色々な政策や施策ができて、他人事に捉えて、それぞれの地域に魅力を感じなければ、人口減を防ぐことができない。

7. その他

備前市まち・ひと・しごと創生推進計画の事業評価（企業版ふるさと納税の活用）については委員からの意見・提案等はなし。

（以上）